


THE
4MINI
WORLD
SURPRISING
DISCOVERY
vol.6
Nahe Germany


「**一声かければ100台集まる**」

ドイツのカリスマ ブローム氏の お店を直撃!

オリジナルパーツは45種類以上
ほぼ全車がナイス110エンジン+チューニング

ヨーロッパの4MINIフリークを巡る取材也大詰めとなった。今回ご紹介するのはドイツ北部の静かな町Nahe(ナーエ)にあるホットショットモンキーズ。オーナーのブローム氏が一声かければ4MINIフリークが100台は集まるという大御所だけあって、「何台か撮影したい」という要望だったのに30台もの4MINIが集結! 夕方の飛行機で帰国という日なのに、撮影会、ツーリング、バーベキューと、ヨーロッパの4MINI遊びを満喫できる1日となった。



■SHOP : Hot Shot Monkeys (<http://www.hot-shot-monkeys.de>)
■PHOTO&REPORT : Tsuyoshi Chiwa
■TRANSLATION : Keizo Kagaya (KA-HA-TradingGmbH)
■SPECIAL THANKS : C.F.POSH (Tokyo&Osaka)

ナイス110のエンジンとカウルを搭載!

MACHINE Monkey
OWNER Michael (ミハヤエル)



ナイス110のエンジンを搭載し、176cc化してSP武川製スーパーヘッド+Rを装着。ドイツ製マフラーを自作加工して装着し、前後ディスクや27φのテレスコピックフォークで走りもバッチリ!

やっばりモンキーはドイツでも人気です!

ドイツでも8インチ
人気上昇中です

MACHINE Monkey
OWNER Manfred (マンフリッド)



あくまでも快適に走れる仕様を前提に、前後8インチでディスク化などが施されている。倒立フォークやSP武川製スーパーヘッド+R、ヨシムラジャパン製サイクロンTYPE7など、日本製パーツもふんだんに使用している。

ドクロのカウルは目がヘッドライトになっていてペイントも車体とマッチさせている。ナイス110エンジンを搭載し、176ccとされ、自作マフラーやリヤのディスク化も施されている。クラッチカバーは2年前にワンオフで製作したという非売品の力作。通常黒いクラッチカバーがガラス張りとなると雰囲気は大きく変わる。

THE 4MINI WORLD SURPRISING DISCOVERY vol.6 Nahe Germany

ワンオフマフラー&176cc仕様の極上仕上げ

MACHINE Monkey
OWNER Dirk (ディルク)



▲ブROOMさん自慢の最新機器がコレ。レーザーを使用してホイールなどに細かな刻印を彫っていく機械です。自慢の機器だけあって、実演してくれちゃいました。



▲出来上がったのがコレ。確かに凄いです。プログラムを作るのが大変そうに見えました。



なんでもまかせてよ!

▶かつて旅行し、ナイス110と出合ったタイが津波被害に遭ったとき、カスタムマシンを1台作り、その代金を募金。その記事が掲載された新聞がコレ。
▶ちゃんと仕事してるフウな事務所も2階にあります。むこうのガラス扉の向こう側は吹き抜けになって作業PITが一望できるんです。



●Hot Shot Monkeys ●Segeherger Strasse 47 23866 Nahe DE
●http://www.hot-shot-monkeys.de

Hot Shot Monkeys
てどんな店??



▲モノサス仕様のスイングアームや左側面に取り回されるステンレス製エキパイはバフがけされ、メッキ仕上げのクラックケースカバーやアルミ製のバックステップなどと統一感のある質感を作り上げている。リヤタイヤはリアナ145/50-10サイズ。

タイに旅行に行った。そこで出会い、モンキーに搭載できないかと買って帰ってきたのがナイス110のエンジンだった。今では150人ほどいるお客さんのほぼ全員がナイス110エンジンを搭載しており、123ccや176ccのフルチューン仕様も多数いるというから驚きだ。

ナイス110エンジンの搭載やチューニングの他に、ホットショットモンキーズではオリジナルのパーツ製作と販売も行っている。その数45種類以上!とて、も全て紹介できる数ではないが、代表的なものにはフロントをダブルディスク化する際に重宝する専用キャリアパー(日本でもABCから発売予定)や、ホイール幅を約30mm太くできるアルミ製のスパーサーなどが人気だという。仕上がりの美しさや精度は自らが4MINIファンというだけに極上で魅力的だ。

ブROOMさんはAffenBande(アッフェンバンデ)(猿の集まり)というチームの会長もしている。11年目になるチームには110人もものチーム員がいるという。

天気の良い日曜日は4MINIが集まり、走りに行ったりパーティをやる。遠出してキャンプする。いじって走って飲んで食べて遊ぶ。彼らは日本で誕生した4MINIを基盤として、ライフスタイルを100倍楽しく、エキサイティングにしているのだ。

ドイツ北部の大都市、ハンブルクからクルマで1時間ほどの町Nahe(ナーエ)。以前にもご紹介したように、ドイツは南部に丘陵地帯が多く、北部は平地が多いため、南部では坂道をグイグイ登れる2バルブヘッドが人気で、北部は直線をカッ飛ばす4バルブヘッドが人気の傾向となっている。そんな4バルブ人気の高い地域の、Dirk Blom(ディルクブローム)さん(40歳)が経営するホットショットモンキーズを訪れてみた。

ブROOMさんはこのあたりの4MINIの大御所という存在らしく、一声かければ4MINIファンが100台は集まるという。ただし、撮影に100台来られても、1人で取材と撮影できる範囲じゃないと困るので、事前に「そんなに台数は必要ないです」とお伝えしてあった。それでも30台ほどが集結し、ヨーロッパならではの4MINIのカスタマイズと楽しみ方を見せてもらうことができた。

ブROOMさんはホンダの販売店でメカニックをしていた18歳のころ、モンキー(Z50A)に出会い、その頃からモンキーの改造などに興味を持ち始めたという。現在40歳、22年間もモンキーと接するうちに、今のSHOPを立ち上げるに至ったという。従業員は3人、お客さんは12歳から62歳まで幅広い。

15年ほど前、ブROOMさんは



▲ツインカム仕様の176ccのパワーを体型的な大柄なバイクが楽しむため、ポジションはゆったりと作られていることが多い。

カーボンサイレンサー2連装

フレームと同色にペイントされたナイス110エンジンは176cc化されデイトナ製ツインカムヘッドを搭載。倒立フォークやフロントにはダブルディスクも装備し、モノサス仕様のロングスイングアームで安定性も確保。

▼シート下に配されるカーボンサイレンサーはアルミ製パイプにより角度が付けられる構造。テールエンドのアルミプレート+キャップホルムもレーシーな外見を作り上げている。

MACHINE Monkey
OWNER Flise (フリーゼ)

THE
4MINI
WORLD
SURPRISING
DISCOVERY
vol.6
Nahe Germany



ドイツ北部では2本出しが人気!?



ホットショットのWサイレンサー

ナイス110のエンジンを176cc化してSP武川製スーパーヘッド+Rを装備。前後ホイールやサイレンサーはホットショットモンキーズのオリジナルを加工装着し、シートのパイピングやナイス110用カウル、個性的な前後フェンダーなどに統一感のあるオレンジを取り入れる。



MACHINE Gorilla
OWNER Tili (ティル)



▲ステンレス製のワンオフエキパイは美しい溶接によって作られている。タンク下方やシート直下は断熱材を装備し、熱対策も万全。



▲ホットショットモンキーズのオリジナルとなる楕円のステンレス製サイレンサーをダブルで装備。大きなナンバープレートは150cc以上の単車区分となり高速にも乗れる。



トラックと8インチ、似合います

MACHINE Monkey
OWNER Frank (フランク)

8インチのモンキーがピックアップトラックで運ばれてきます。荷台のトノカバー(フタ)は閉まりませんが、のんびりした雰囲気と8インチモンキーが絶妙にマッチ。モンキーって、国を選ばずに似合っちゃうんですね。



◀ホットショットモンキーズで販売しているダブルディスク用のキャリパー。ダブルディスク専用だから左右対称の見栄えとなり、もちろん自社製なのでメイド・イン・ジャーマニー。日本でもABCが輸入発売する予定というから楽しみだ。



▲OVER製マフラーにナイス110エンジンは176cc化されてデイトナ製の4バルブヘッドが搭載される。Gクラフト製スイングアームによって、さりげなくモノサス仕様になっているトコも自慢のポイントだ。



このキャリパー日本発売かも!?

かなり上質でしょ~!

MACHINE Monkey
OWNER Doctor (ドクター)

やや大きめなナイス110の腰下をあえて車体色でペイント。倒立フォークやOVER製を加工したというアップタイプマフラーなど、全体のバランスもお見事!

オリジナルのスペーサーやハブも作ってます!
45種類もあるという4MINI用オリジナルパーツ。中でもオススメなのがホイール幅が30mm太くなる8インチ用4.7Jのホイールスペーサー。アルミ削り出しの専用ハブも販売している。



▲前のページで自慢していたレーザー機器によってリムにはHOT SHOT MONKEYSの刻印が施される。



45種類ものオリジナルパーツ
日本発売間近のモノもあります!

◀リム部分はブラックのアルミ製アルマイト仕上げとなり、スポーク部分は削り出しの質感となるワイドホイールスペーサー。フロント用が90€(約1万4400円)、リヤ用が80€(約1万2800円)。専用ハブ付きだと、フロント150€(約2万4000円)、リヤ180€(約2万8800円)となる。

ダウンの2本
シブクネ?

MACHINE Gorilla
OWNER Frank (フランク)

怪しい迫力
走りも過激です



176cc化されたナイス110エンジンを搭載し、前後8インチ、ダブルディスクで走りも過激。けっこう乗り込んでて年季入ってます!

▲ホットショットモンキーズのオリジナルサイレンサーを2本装備。もちろんエキパイなどの製作もホットショットモンキーズが担当します。

▼クラックケースの上方で分岐されたエキパイがそれぞれのサイレンサーへと続いている。ロングスイングアーム装着で、ディスク化され、モノサスやさり気ないサイレンサーの配置によりシンプルな外見を作り出しているのもカッコいい!

オレのも
2本出し
だけ!

MACHINE Baja 250R
OWNER Torger (トーガー)

この色、
希少だから
好きなんだ



▲テールエンドは左右下方に向けられ、排出ガスがナンバーに当たらず、後方のライダーにも影響のないように配慮される。

自作マフラーはアルミサイレンサーの2本出し。テールカウル下側にさり気なく装備されているのがツウ好きなシブさを感じる。エンジンはナイス110を154ccに排気量アップし、デイトナ製のDOHC4バルブヘッドを搭載。日本でも人気の高いB77タイヤを前後に装着している。

このオレンジの車体色は珍しいらしく、お気に入りのポイントなんだから〜

じつは
オレのも
ダブルです!

バハって
珍しいでしょ?

このカラーリングがドイツでは希少ということで、とっても気に入っているという。ナイス110のエンジンをチューニングして乗ってます。



MACHINE Baja
OWNER Welf (ベルフ)



▼左手に一眼レフを持ってフルチューン4MINIでツーリング。あらゆる意味でエキサイティングな取材でした。

次号
予告
これぞ4MINIの
楽しみかた!

次号もホットショットモンキーズの4MINIブリークをご紹介! 30台もの撮影会のあと、ショートツーリングに誘われ、バーベキューも準備されていた! やっぱバイクは一緒に走る仲間意識出てイイんだよな〜。

ドイツ北部の大都市、ハンブルクからクルマで1時間程度の近さにあるホットショットモンキーズ。平地が多く、自然がたくさん残っているため、ツーリングにも最適! ちなみにハンバーグの語源は、ハンブルクの労働者の中で人気メニューだったステーキをハンバーグと呼び出したのが発祥だという。確かに、スベル、似てるよね。



ドイツ北部の街
ナーエってドンなトコ?

▼のんびりと流れる時間の中で4MINIを楽しむ。気候的にも暑くなく、涼しく過ごしやすいのでバイクファンにはたまらない国柄なのだ。

◀ハンブルク市内からナーエ方面を展望する。山どころか丘陵地帯も見えないほど平地が続く。アップダウンが多い南部とは違って直線が多いのがわかるでしょ。

